平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立成瀬小学校

1　調査結果の分析と考察

	特長	課題
国語	・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にして読むことができる。 ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことができる。 ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問ができる。	・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。 ・漢字を文の中で正しく使うこと。
算数	・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。 ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる。 ・台形について理解している。	・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を言葉を用いて記述すること。 ・示された除法の式の意味を理解すること。
質問紙	・朝食をしっかり食べ、決まった時刻に就寝・起床するなど、基本的な生活習慣が身に付いている。 ・将来の夢や目標を持つ児童が多い。 ・自分には良いところがある、先生は自分の良さを認めてくれていると思っている児童が多い。 ・家庭での予習、復習など自主的に学習に取り組むことができる。 ・道徳の授業への意欲が高く、いじめはいけないことだと児童が思っている。	・国語や算数の学習は大切だと思っている児童が多いわりには、好きだという児童が少ないこと。 ・読書は好きだが、図書館や図書室に行かない児童が3割いたり、新聞を読んでいると回答した児童が少なかったりしたこと。 ・国語で4割、算数で2割の児童が解答時間の不足を訴えていたこと。

2①　授業の充実に向けた重点的な取組

・国語や算数の学習は大切だと思っている児童は多いわりに、好きだという児童が少ないことがわかった。児童の興味関心をより高めるような授業改善をしていく必要がある。
　また、「書くこと」に苦手意識を持つ児童が多くいることもわかった。それぞれの教科の特性に基づいて、自分の考えを根拠を示しながら説明したり、考えを書いてまとめたりする学習を授業の中に位置付け、思考力や表現力の向上を目指していく必要がある。
・国語　…　漢字による熟語などの語句の使用が増加する高学年では、漢字辞典を使って意味を調べたり、同音異義語を使い分けた短文作りをしたりする学習などを取り入れ、文や文章の中で正しく使うことができるようにする。
・算数　…　必要に応じて、式が何を表しているのかを振り返ることで、式の意味についての理解を深めることができるようにする。

2②　家庭（地域）への発信内容（協力依頼事項）　※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

◎規則正しい生活を送り、学校のことを家庭で話題にしている児童が多くいます。ご協力に感謝いたします。
1．本や新聞とふれあう環境づくりを
　読書が好きという児童は多いのですが、図書館に行ったり、新聞を読んだりする児童は少ないようです。本や新聞などを読むことには、新たな知識を得たり、想像力を高めたり、偉人や色々な人々の考え方や言葉に触れたりできるなど、さまざまな効果があります。語彙を増やしたり、言葉の表現力を高めたり、文章を書く力を高めたりすることにもつながります。新聞や本を読む習慣をつけましょう。家族で図書館に行くというのも良いですね。
2．自主的な家庭学習を
　「毎日30分以上家庭や塾などで学習している」という児童は、90％近くいます。子どもの「学ぶ力」をより育てるために、学習時間を確保することや宿題だけでなく、質の向上を目指しましょう。（伊勢原市の「家庭学習の手引き」を参考に）